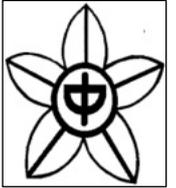
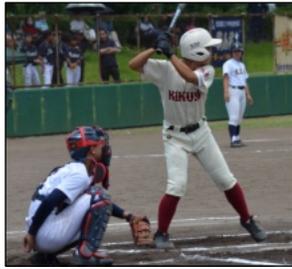


菊水中学校便り



中体連大会終わる



六月一五日・二二日・二三日に玉名荒尾中学校総合体育大会（中体連大会）等が行われました。結果は以下の通りです。

- 野球部3位（荒尾三中四中との合同チーム）
- 女子バレー初戦敗退
- バドミントン男子団体初戦敗退
- 空手代表女子で二年生の池田千紘さんが形2位・組手3位（県大会出場）
- 県中学校水泳競技大会で三年生の大村智さんが二〇〇m平泳ぎで二位、一〇〇m平泳ぎで四位
- 熊本県通信陸上大会で二年生の辻本愛琉さんが二年男子一五〇〇mで四位



三年生にとって最後の大会となる中体連で最後まで粘り強く健闘してくれました。今後部活動は二年生中心の活動になります。新チームでの健闘を期待します。

小中高同研修会

本校と菊水小学校は分離型小中一貫校です。九年間の小中一貫教育を通じた小中連携強化で確かな学力の定着と豊かな心、たくましい心身の育成を図ります。六月二七日には本年度一回目の小中高同研究授業（小学五年国語）と授業研究会を菊水小学校で行いました。小中学校で学習規律や授業づくりをさらに連携していくために活発な意見交換ができました。

授業参観 PTA研修 ビーチバレー

六月二九日、授業参観・PTA研修・学年懇談、そして午後にはクラス対抗の



PTAビーチボールバレー大会を実施しました。研修では玉名教育事務所の丸丸社会教育主事を講師として「親の学び講座」を実施し、子育てについて楽しく意見交換等ができました。親同士のつながりが大切だと学びました。午後のビーチバレーでは熱戦が繰り広げられ、一の二Aチームが優勝しました。終日のご参加ありがとうございました。

STEMSメンター

七月二日一年生は忽那SCCをゲストにお迎えし、「ゲートキーパーになろう」という内容でSTEMSメンターの学習を行いました。STEMS要因に着目し、その解消と改善を図り、ストレスへの対応力を高めることを目的としています。

租税教室

二日、三年生で租税教室が行われました。玉名法人会から四名が来校され講話がありました。動画を見たり、税金クイズなどを通して税金について詳しく学ぶことができました。



性に関する講演

三日、三年生で性教育の一環として講演を行いました。今回は、まつおレディー スクリニック院長の松尾州裕先生を講師として、十代の性、性感染症、LGBTQ等について話をいただきました。改めて自分のことについてしっかりと考える良い機会となりました。等の感想がありました。性に

救命救急講習

二年生は救命救急講習会を行いました。昨年も行っており、講習を繰り返し受けることが大切であると実感していました。菊水分署の署員の方から心肺蘇生法やAEDの使用方法、そして〇×クイズを通して救急車や救命率に関する知識も教

三者面談

三年生は六月下旬から七月十一日の期間で第一回三者面談を行いました。三年生はこれから進路決定に向けて本格的に動き出します。夏休みには高校の体験入学や説明会があります。積極的に参加してください。この夏休みにゆとりと自分と向き合い、家族と話し、将来のことを考える機会としてほしいと思います。



ていただきました。救急車到着までに心肺蘇生やAEDを使用し適切な処置を行うことが命を救うことになると学びました。

「命の講話」「命の日人権集会」

12年前に本校で起こった痛ましい事件を忘れることなく、命の大切さを全校生徒で考え、語り継いでいこうと本校では、毎年、「命の講話」「命の日人権集会」を行っています。今年は6月7日に「第1回命の講話」を、7月10日に「命の日人権集会」を開きました。

「第1回命の講話」では県人権同和教育政策課の人権関係登録講師で、真和中学校高等学校専任講師の戸田俊文先生に「ネット社会をかしく豊かに生きるために」と題して講話をしていただきました。人を傷つけない、自分も傷つけないネットとの付き合い方をどうしていくのか、改めて考えさせられた時間になりました。

また、「命の日人権集会」では、全校生徒で黙祷を捧げたあと、生徒全員が命の大切さについて書き綴った作文の中から、1年生中山飛竜さんが「大切な弟」、砂川結衣さんが「人の個性について」、2年生坂井優花さんが「小学校5年生で体験したこと」、3年生廣田来祐さんが「私の左耳のこと」と題して発表してくれました。それぞれが家族の大切さや自らの体験、これまで生きてきた中での思いなどを語り、発表後には聞いていた他の生徒から返しの一言感想文をもらいました。生徒同士の心の交流ができた、大変有意義な時間となりました。



夏休みを元気に、楽しく、有意義に過ごしましょう

夏休み期間7/20～8/26

いよいよ夏休みです。8月27日の授業再開の日に、「ああ、今年の夏休みも計画倒れに終わってしまった～」と後悔しないようにするために、次の2つのことを実行しましょう。

1つ目は、「心に決める」ことです。

このことについて面白い話を聞いたことがあります。人間が他の動物と違うところは2本足で直立歩行ができることです。ではなぜ、人類の祖先が2本足で歩くことができるようになったのでしょうか。ある有名な人類学者は、真面目に「それは、2本足で歩こうと思ったからである」と答えたそうです。学問的には答えになっていないと思うのですが、私は妙に納得しました。なぜなら「こうしよう!」という決意が、自分を変える最大のエネルギーだと思うからです。

2つ目は心に決めたことを「毎日実行」することです。

今、アメリカの大リーグで活躍する大谷翔平選手は、高校の時、「プロ野球のドラフト会議で8球団から1位指名を受ける」と心に決めて、それを達成するための目標を書き表しました。つまり、大谷選手はここに書き出したことを「毎日実行」し、今の自分を創り上げたということです。例えば、「運」をよくするために、ゴミ拾い、部屋掃除、本を読む、プラス思考、道具を大切に使う、あいさつといった行動目標を立てて実行したということです。とても参考になります。

さあ、皆さんは、今年の夏休み「何を心に決め」、「何を毎日実行」しますか？

親子美化作業
8月18日（日）
午前7時開始

注意!
7/20・7/21業者による除草作業
7/26・27がラウト内除草剤散布